

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	福祉保健部 社会福祉課												
	作成責任者	大西 健二												
	事業名	災害見舞金事業												
	会計情報	款	民生費	項	災害救助費	目	災害救助費	会計	一般会計	事業コード	420395	決算付属資料	142	頁
	施策体系	施策コード	050201	施策名	共に支えあう地域福祉を推進する									
	開始年度	昭和47年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等													
	根拠法令等	福知山市災害見舞金等交付要領												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	福知山市において災害により被害を受けた市民に対し、見舞金を支給し必要な援助を講じ、もって市民の福祉及び生活の安定に資することを目的とする。											
	対象者	災害により被害を受けた市民			対象者数						単位あたりコスト		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()											
	委託先・実施主体等												
	事業概要	自然災害や火災により被害を受けた市民や、現に住んでいる住居に被害を受けたもの、又は死亡したものの家族に対して、被害の程度に応じた見舞金を支給する。											
主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費				
	旅費	災害に係る説明会、行政法律相談							8				
	役務費	郵送料							169				
	扶助費	災害見舞金(火災、H29台風21号、7月豪雨、台風24号)							5,620				
	関連事業												

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
	配当予算	①当初	854	568	558	558	547
		②補正予算			3,231	0	
		③流充用額	0	1,400	2,008	0	
		④繰越額計		0	0	0	0
	前年度繰越	前年度繰越		0	0	0	
		次年度繰越		0	0	0	
		繰越額		0	0	0	0
	財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源	854	1,968	5,797	558	547
		国支出金	0	0	0	0	
		府支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
	その他特財	0	0	0	0		
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職・嘱託)	/	/	0.64 / 0.32	0.64 / 0.32		
	⑤概算人件費		0	5,920	5,920		
	⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	854	1,968	11,717	6,478		
	⑦執行額			5,797	0		
	執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		制度利用者数	件	6/29	90/13	277/12	/ 12	12
				/	/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		制度利用者数	件	5/29	90/13	277/12	/ 12	12
		単位あたりコスト		52.2	21.7	20.9		
			/	/	/	/		
			単位あたりコスト					

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・被災時における生活支援として重要な事業である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・他市の見舞金の支給状況等を比較・検討しながら見舞金を支給をする。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・災害により被災した方に対して速やかに見舞金を支給することにより、福祉及び生活の安定に資することができる。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		災害時における見舞金の支給について、一定の役割を果たしたと考える。	
今後の課題及び方向性		京都府下及び近隣自治体の状況を精査しながら、より有益な見舞金の支給となるよう検討する。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	平成30年度の事業棚卸しを受けて、被災者の被災後の生活に配慮しながら、より一層被災状況に応じた見舞金を支給できるよう、見舞金の支給のあり方について検討。 ≪見舞金支給額の見直しについて≫ (1)見舞金の支給額 死亡「2万円」を「3万円」に改正する。 (2)見直しの理由 府下15市及び兵庫県近隣2市の見舞金支給内容を精査し、見舞金額の見直しを行ったため。 (3)適用時期 令和2年4月1日 ※福知山市災害見舞金交付要領の改正を要する。
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	福祉保健部 社会福祉課												
	作成責任者	大西 健二												
	事業名	広域避難所等物資提供事業												
	会計情報	款	民生費	項	災害救助費	目	災害救助費	会計	一般会計	事業コード	420396	決算付属資料	142	頁
	施策体系	施策コード	050201	施策名	共に支えあう地域福祉を推進する									
	開始年度	平成30年度												
	終了予定年度	平成30年度												
	関連計画等													
	根拠法令等	災害救助法												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (府負担金 災害救助費等負担金)												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	7月豪雨により、家屋に床上浸水以上の被災をされた方や避難所生活を余儀なくされている方に対して、基本的な生活の確保を目的として生活必需品の給与を行うため。									
	対象者	災害により被害を受けた市民			対象者数	単位あたりコスト					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等										
	事業概要	基本的な生活の確保を目的として生活必需品の給与を行うため、被災者の申請により物資を提供する。 【被災者】 寝具セット、台所用品セット、炊飯器、ガスコンロ、送料 【避難所生活者】 消耗品一式(ハンドソープ、消毒液、食器 用洗剤、ごみ袋等)									
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費	
		需用費	7月豪雨災害に係る物資							647	
役務費		物資運搬料							24		
関連事業											

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額						
	配当予算	①当初			0							
		②補正予算			0							
		③流充額			672							
		④繰越額計			0		0					
	繰越	前年度繰越			0							
		次年度繰越			0							
		一般財源			0		0					
	国支出金			672								
	府支出金			0								
	地方債			0								
	その他特財			0								
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	災害救助費負担金(平成30年7月豪雨)			種類	府負担金	実績金額	671	決算付属資料	22	頁
		特財名称				種類		実績金額		決算付属資料		頁
	人件費	従事職員数 (正職・嘱託)	/	/	0.2 / 0.32	/						
⑤概算人件費				2,400								
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)				3,072								
⑦執行額				671								
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)				99.9%								

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		制度利用者数	件	/	/	45/45	/	
				/	/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		制度利用者数	件	/	/	45/45	/	
		単位あたりコスト		/	/	14.9	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/		

項 目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・被災時における生活支援として重要な事業である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・本事業は、防災協定締結事業者との契約により実施したもので、物資の注文から配送に至るまで、双方連携を密にして短期間で被災者へ物資をお届けすることができた。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・災害により被災した方に対して速やかに物資を提供することにより、生活の確保を行うことができる。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		災害時における物資の提供について、一定の役割を果たしたと考える。	
今後の課題及び方向性		避難所生活者及び被災者の状況を迅速かつ正確に把握し、ニーズに対応できるよう体制を整える。	

所 見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
所 見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内 容
来年度方針 担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	福祉保健部 社会福祉課												
	作成責任者	大西 健二												
	事業名	社会福祉推進事業												
	会計情報	款	民生費	項	社会福祉費	目	社会福祉総務費	会計	一般会計	事業コード	440101	決算付属資料	110	頁
	施策体系	施策コード	050201	施策名	共に支えあう地域福祉を推進する									
	開始年度	昭和26年度(1951年度)												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	-												
	根拠法令等	社会福祉法												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	・近畿ブロックや京都府内の福祉事務所長会議を通じて、各市との情報交換や情報共有をすることにより福祉行政の推進を図る。 ・管理主管課である社会福祉課が業務に必要な機器等や物品の管理、購入を行うことによって、福祉事務所の業務を効率的かつ円滑に進める。 ・「社会福祉法人・社会福祉施設の適正な運営の確保」、「不祥事の未然防止」、「福祉サービスの質の向上」等の観点から、機動的・効果的な指導監査を実施する									
	対象者	近畿・京都府内福祉事務所長、子ども政策室、社会福祉課、障害者福祉課、高齢者福祉課、健康医療課職員、市内社会福祉法人	対象者数	270	単位あたりコスト	81.2					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等	-									
	事業概要	・福祉事務所長会議等(近畿ブロック都市福祉事務所長連絡会議、京都府下14市福祉事務所長会議、北部7市福祉事務所長会議)への参加に係る経費。 ・福祉事務所及び社会福祉課におけるコピー機、リソグラフ等の維持管理やコピー用紙等の物品購入を行う。 ・社会福祉法人指導監査事務に係る経費。 ・社会福祉指定寄附金事務に係る経費。									
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費	
	旅費	福祉事務所長会議・研修等参加							83		
	需用費	消耗品費(PPC用紙・プリンターインク等)、印刷製本費(封筒等)							682		
	役務費	電話代、郵送料、切手代							132		
	使用料及び賃借料	コピー代機使用料、リソグラフ賃借料							930		
	負担金補助及び交付金、積立金	近畿ブロック都市福祉事務所長連絡協議会会費、研修参加負担金、基金積立金							2,072		
関連事業	-										

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
	配当予算	①当初	1,928	2,065	3,766	4,414	4,179
		②補正予算			0	0	
		③流充用額	717	470	474		
		④繰越額計	0	0	0	0	0
	前年度繰越						
	財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源	2,645	2,505	4,210	4,384	4,179
		国支出金	0	0	0	0	
		府支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他特財	0	30	30	30	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	人件費	0.87/0	1.12 / 0	2.21 / 0	2.21 / 0		
⑤概算人件費	6,960	8,960	17,680	17,680			
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	9,605	11,495	21,920	22,094			
⑦執行額	2,645	2,534	3,899				
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	100.0%	92.0%	0.0%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
				/	/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		府内14市・北部7市福祉事務所長会議への開催	回	3 / 3	3 / 3	1 / 3	3 / 3	3
		単位あたりコスト		881.7	844.7	3,899.0		
		社会福祉法人監査実施数	回	10 / 10	14 / 14	9 / 9	12 / 12	計画に基づいた適正な指導監査の実施
単位あたりコスト		264.5	181.0	433.2				

	項目	評価	評価に対する説明	
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	福祉行政の円滑な推進のため必要な事務経費である。 福祉事務所長会議を通じて情報を入手し、各市との連携を図る機会となる。 本市福祉行政の今後の方向性を検討する上で、福祉事務所長会議等で得られる情報は大変有用である。 福祉事務所の円滑な運営を進めるとともに、福祉事務所長会議等を通じて情報交換・情報共有を図ることができた。福知山市社会福祉法人指導監査実施方針及び実施計画に基づき、社会福祉法人の適正な運営を確保することを主眼として指導監査を実施した。福祉向上のためにご寄附いただいた方に対して適切丁寧に応ずるとともに、社会福祉費指定寄附金として速やかに納入、また基金への繰入について適正な事務処理を行った。 (定性的評価)
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価			
今後の課題及び方向性	今後においても適切かつ効率的な事務執行に努め、経費節減を図る。 平成30年度から社会福祉法人指導業務事業と社会福祉指定寄付金事業を統合した。			

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	<p>○事業を統合しているが、事業目的ごとの事業に区分し直すことを検討して下さい</p> <p>○内部事務と外部事務が混在しているため、適切な指標設定ができない。目的及び事業内容を整理し、目的の達成度を的確に評価できる指標設定が必要</p>

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	・会議の資料の見直しを行い、印刷、コピー料金の削減を目指す。
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	福祉保健部 社会福祉課												
	作成責任者	大西 健二												
	事業名	福祉バス運営事業												
	会計情報	款	民生費	項	社会福祉費	目	社会福祉総務費	会計	一般会計	事業コード	440104	決算付属資料	110	頁
	施策体系	施策コード	050201	施策名	共に支えあう地域福祉を推進する									
	開始年度	平成15年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	-												
	根拠法令等	-												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	・市主催事業の円滑な運営や災害時等の緊急時の車両として活用する。 ・リフト付きバスであることから、障害のある方等を対象とする事業の利用を優先する。									
	対象者	全市民	対象者数	78,166	単位あたりコスト	0.03					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等	京都ユニオンサービス株式会社・有限会社浅田自動車									
	事業概要	・市所有のリフト付バス1台の維持管理及び運行に係る調整業務。									
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費	
		需用費	オイル漏れ、リヤータイヤ交換、プレヒーター、マイク等修繕料							567	
役務費		自動車損害賠償保険、法定点検手数料							103		
委託料		バス運行業務、車両維持管理業務委託料							254		
公課費		自動車重量税							57		
関連事業	-										

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	3,801	2,071	1,596	1,195	1,174
	②補正予算			0		
	③流充用額	492	△ 130	△ 533		
	④繰越額計	0	0	0	0	0
	前年度繰越					
	次年度繰越					
	一般財源	4,293	1,941	1,063	1,195	1,174
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0		
その他特財	0	0	0	0		

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.16/0	0.14 / 0	0.19 / 0	0.19 / 0	
⑤概算人件費	1,280	1,120	1,520	1,520	
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	5,573	3,061	2,583	2,715	
⑦執行額	4,119	990	981		
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	95.9%	51.0%	92.3%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		利用者数(福祉バス)	人	4183/5000	5716/5000	4062/5700	/ 5700	5700
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		稼働日数(福祉バス)	回	159 / 200	141 / 200	131 / 200	/ 200	200
		単位あたりコスト		25.9	7.0	7.5		
単位あたりコスト		/	/	/	/			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	白ナンバー登録車両であり、運行は市主催行事に限定されるため、全ての利用希望に対応することはできない。バスの運行は、民間を活用する事が可能である。ただし、リフト付きバスを保有する民間事業者は市内に無いため、福祉バスを本市が独自に保有する意義はある。民間代替は可能であることから、優先度は低くなると考える。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	白ナンバー登録車両であり、運行は市主催行事に限定されるため、受益者負担は発生していない。バスの老朽化に伴う修理費用・部品取替え等の負担が発生しているが、自家用バスの運行を行うことで民間のバス事業者を利用するよりもコストの削減ができています。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	保育園、学校関連での利用が多く、子どもの健全育成に寄与している。また、障害者関連行事にも積極的に活用いただけており、障害のある人の社会参加の促進に有効活用していただいている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		各種の市主催事業に使用したことにより各々のバス借上費用の軽減につながったとともに、それぞれの事業が円滑に実施ができた。また、災害時の緊急用車両としては、平成30年7月豪雨災害時に大江支所復旧作業の市職員の移動手段として2日間運行した。	
今後の課題及び方向性		本事業については、平成29年度から2台あったバスを1台とし（広報バスを1台廃棄）、また法令順守の観点から市主催事業以外への貸し出しは原則行わないこととしている。車椅子のまま乗降できる車両であることから、障害のある人が参加される市主催事業を優先することとしている。また、激変緩和の観点からこれまで貸し出しを行っていた障害者や高齢者の福祉団体に対してバスの借上げに対する補助制度を設けている。今後も市主催事業のみの運行を徹底し、安全・適正なバス運行を行っていくが、今後ますます老朽化による修繕費用が高むことが見込まれるため、買換えるのか、市でバスを所有しないのかを検討する必要がある。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	福祉保健部 社会福祉課												
	作成責任者	大西 健二												
	事業名	社会福祉協議会活動費等補助事業												
	会計情報	款	民生費	項	社会福祉費	目	社会福祉総務費	会計	一般会計	事業コード	440107	決算付属資料	110	頁
	施策体系	施策コード	050201	施策名	共に支えあう地域福祉を推進する									
	開始年度	平成28年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	-												
	根拠法令等	社会福祉法、福知山市社会福祉協議会補助金交付要綱												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	地域における生活課題や福祉課題の解決に向けて具体的な取組みを進めることにより、誰もが住み慣れた地域で心豊かに安心して生活できる、お互いに支え合い・助け合う地域福祉のまちづくりを推進する。									
	対象者	全市民	対象者数	78,166	単位あたりコスト	0.6					
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等	福知山市社会福祉協議会									
	事業概要	地域福祉の推進の重要な役割を担っている福知山市社会福祉協議会に対し、その人件費及び活動事業に係る経費を支援するにより、社会福祉協議会の安定を図るとともに、本市の地域福祉を推進する。									
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費	
	負担金補助及び交付金	社会福祉協議会人件費及び活動事業費の補助							47,724		
関連事業											

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額		
配当予算	①当初	52,442	47,724	47,724	47,724	47,724	
	②補正予算						
	③流充用額	0	0	0			
	④繰越額計	0	0	0	0	0	
前年度繰越							
予算と執行の状況	一般財源	52,442	47,724	47,724	47,724	47,724	
	国支出金	0	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他特財	0	0	0	0	0	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類		実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.12/0	0.13 / 0	0.28 / 0	0.28 / 0			
⑤概算人件費	960	1,040	2,240	2,240			
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	53,402	48,764	49,964	49,964			
⑦執行額	52,428	47,724	47,724				
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
		高齢者ふれあいいきいきサロン延べ参加者数	人	24360/41500	24708/41500	24500/41500	/	41500	41500(のべ)
	福知山市ボランティアセンターへの加入者数	人	1794/2800	1327/2800	1293/2800	/	2800	2800(累計)	
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標		
			高齢者ふれあいいきいきサロン実施箇所数	箇所	145 / 160	159 / 160	156 / 160	/	160
			単位あたりコスト		361.6	300.2	306.0		
					/	/	/	/	
	単位あたりコスト								

項 目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	社会福祉協議会は、地域福祉の推進の中心的な役割を担っており、国において地域課題を地域住民が主体的に解決する体制づくりが加速しているなかで、その活動に対する期待は大きい。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	社会福祉協議会は、地域福祉の推進を具体的に進めるための第3次地域福祉活動計画を策定しており、市の第3次地域福祉計画と連携した取組が可能である。 他の委託費や補助金との重複がないかなど、人件費について詳細に確認することで補助対象経費の精査に努めている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	地域福祉の推進状況の成果は数値だけでは測りにくい。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		地域福祉の要である公益事業を行う社会福祉協議会の活動を支援することにより、地域福祉の推進(地区福祉推進協議会活動やふれあいいきいきサロンの活動推進、ふれあい福祉相談、広報紙の発行等)を図ることができた。	
今後の課題及び方向性		社会福祉法第六条では、「国及び地方公共団体は、社会福祉を目的とする事業を経営する者と協力して、社会福祉を目的とする事業の広範かつ計画的な実施が図られるよう、福祉サービスを提供する体制の確保に関する施策、福祉サービスの適切な利用の推進に関する施策その他の必要な各般の措置を講じなければならない。」とされている。 人件費算出根拠の補助対象者数や補助率、補助金額の根拠が不明確ではあるが、社会福祉協議会は、地域福祉を担う人材の発掘や育成を図るうえで重要な役割を担っている団体であり、引き続き本市の地域福祉の推進のため、補助金の交付支援を行うとともに、連携協力を行っていく。	

所 見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内 容
来年度方針 担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	・R2年度から新指定管理者による管理が開始する。新規エネルギー業者の採用を検討するなど、光熱水費の見直しを行い、経常予算シーリングと同等の指定管理料の引き下げを求める。
予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	福祉保健部 社会福祉課												
	作成責任者	大西 健二												
	事業名	地域福祉推進事業												
	会計情報	款	民生費	項	社会福祉費	目	社会福祉総務費	会計	一般会計	事業コード	440108	決算付属資料	110	頁
	施策体系	施策コード	050201	施策名	共に支えあう地域福祉を推進する									
	開始年度	平成30年度												
	終了予定年度	令和4年度												
	関連計画等	第3次福知山市地域福祉計画												
	根拠法令等	-												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	平成29年度に策定した「第3次福知山市地域福祉計画」に基づき、人権尊重を基本に住民相互の理解・補完・協働によって、だれもが安心して暮らせる地域づくりと社会参加を促進するとともに、福祉文化を創造し、ユニバーサル社会の形成を推進する。									
	対象者	全市民	対象者数	78,166	単位あたりコスト	0.0					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等										
	事業概要	第3次福知山市地域福祉計画を広く市民に啓発し、地域が互いに支え合える福祉のまちづくりをみんなで取り組めるような仕組み、体制の整備を進める。また、社会情勢の変化へ柔軟な対応ができるよう、各施策の進行管理を行うとともに必要に応じて見直しを講ずる。									

主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費
	需用費	印刷製本費(地域福祉計画本編冊子及び概要版作成)	516
	委託料	バス運行委託業務	11

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
	配当予算	①当初	2,652	3,943	958	351	312
		②補正予算	63	△ 10	0	0	
		③流充用額			△ 369	0	
		④繰越額計	0	0	0	351	0
	前年度繰越						
	財源内訳(①④⑤内訳)	一般財源	715	2,475	589	702	312
		国支出金	0	0	0	0	
		府支出金	0	1,458	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他特財	2,000	0	0	0	

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁

人件費	0.42/0	0.4 / 0	0.06 / 0	0.06 / 0	
⑤概算人件費	3,360	3,200	480	480	
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	6,075	7,133	1,069	1,182	
⑦執行額	2,473	3,518	528		
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	91.1%	89.4%	89.6%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		第3次地域福祉計画策定		市民意識の把握	計画策定	進捗管理	/	4次に向けた評価
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		冊子の作成配布	回	-	-	1/1	/	1

活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	単位あたりコスト	H28	H29	H30	R1
	冊子の作成配布	0.0	0.0	528.0	

	項目	評価	評価に対する説明			
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	各種団体や一般公募による市民等から組織された策定委員会を6回開催し、多くの方の意見を反映し、策定した第3次地域福祉計画である。		
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○			
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○			
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○		進捗管理については、まずは庁内組織による確認を行うこととし、報酬等の削減に努めている。	
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○			進捗の遅延や社会情勢の変化等に対応し各施策内容の見直しを行う必要がある場合等は、必要に応じて推進委員会を開催する。
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○			
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○		地域福祉計画は、近年の複合化多様化した地域課題を踏まえ、地域全体での取り組むべき内容や市が包括的に取り組むべき相談体制の構築などについても言及した計画となっている。	
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○			
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○			
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	平成30年度においては、策定した第3次地域福祉計画の冊子（本文80ページ/表紙目次挨拶除く/1,000部）と概要版（8ページ/2,500部）を作成した。市議会議員の皆様や自治会長様、民生児童委員様、各関係機関等に配布するとともに市のホームページにも掲載している。また若い世代にも啓発するために、成人式において概要版を配布した。				
今後の課題及び方向性	今後も機会を捉えて市民等への周知・啓発に努めるとともに計画で取り組むべきとした目標の進捗管理を定期的に行いながら、計画に沿った実行性のある地域福祉の推進を行う。また、必要に応じて地域福祉推進委員会を開催し、課題や具体的方策等についての協議を行うとともに、関係部署と調整を図ることで、順調な計画推進に向け取り組む。					

	所見
二次評価（庁内評価） 【行革担当課記入】	
三次評価（外部評価） 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	5か年計画の3年目であることから、次期計画の策定に向けた準備を行う。
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況（対H31） <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	福祉保健部 社会福祉課												
	作成責任者	大西 健二												
	事業名	債権管理事業												
	会計情報	款	民生費	項	社会福祉費	目	社会福祉総務費	会計	一般会計	事業コード	440115	決算付属資料	110	頁
	施策体系	施策コード	050201	施策名	共に支えあう地域福祉を推進する									
	開始年度	平成25年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等													
	根拠法令等	国税徴収法、民法、福知山市債権管理条例、滞納金督促条例 等												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	福祉保健部等の公私債権の未納金について、納付指導や滞納処分、法的措置、財産調査及び出張徴収による債権整理等を実施して、徴収率・額の向上及び公平・公正な債権管理を行うことを目的とする。									
	対象者	債権全般に係る滞納者	対象者数	920	単位あたりコスト	24.5					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等	北日本コンピューターサービス株式会社									
	事業概要	差押・交付要求、法的措置による滞納処分の執行 納付不可能と判断される債権に対する執行停止、徴収停止 滞納者に係る生活実態・財産調査 文書及び電話による催告 納付相談 徴収嘱託職員による訪問徴収指導									
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費	
		旅費	債権管理に係る研修会、法律相談							31	
需用費		消耗品費、燃料費、印刷製本費							303		
役務費		電話料、郵送料、財産調査に係る手数料、切手、印紙代							346		
委託料		貸付システム保守業務等							988		
関連事業											

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
	配当予算	①当初	880	2,155	2,101	11,185	1,966
		②補正予算	0	0	0	0	
		③流充用額			0	0	
		④繰越額計		0	0	0	0
	前年度繰越			0	0	0	
		次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源	880	2,057	2,101	11,185	1,966
		国支出金	0	0	0	0	
		府支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他特財	0	98	0	0	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	人件費	0.6/2.10	/	1.41 / 3.68	1.41 / 3.68		
⑤概算人件費	10,050	10,050	20,480	20,480			
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	10,930	12,205	22,581	31,665			
⑦執行額	241	1,607	1,668	0			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	27.4%	74.6%	79.4%	0.0%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		滞納処分の実施数	件	30/30	46/50	18/50	/50	50
				/	/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		滞納処分の実施数	件	30/30	46/50	18/50	/50	50
		単位あたりコスト		8.0	34.9	92.7		
		/	/	/	/			
	単位あたりコスト							

	項目	評価	評価に対する説明	
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・歳入確保及び公平公正な債権整理を行うためには重要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・滞納処分が執行停止、徴収停止にするかを見極め、公平公正な債権整理を実施。 ・費用対効果を追求した債権整理を実施。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・公平公正な債権整理を行うことにより、安定した歳入確保ができる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	≪平成30年度滞納処分等の実績≫ 1 公債権 (1) 差押 ○差押件数 11件(預貯金等3件、給与3件、本市租税公課の還付金5件) ○差押債権額 1,607,254円 (介護保険料861,110円、78条生活保護費徴収金(H26.7.1以降の債権)689,668円、後期高齢者医療保険料56,476円) ○うち、取立した額 7件、396,016円 (2) 執行停止 ○件数 2件 ○債権額 26,300円 2 私債権 (1) 支払督促 ○件数 4件 ○債権額 412,000円 (2) 債権差押(取下げ) ○件数 1件 ○債権額 120,000円 ≪平成30年度活動実績の指標達成が18/50と低い理由≫ 7月豪雨災害により被災者支援業務が最優先事務となったことにより、債権管理事務が計画どおり履行できず、滞納処分件数が目標値を大幅に下回る結果となったため。			
今後の課題及び方向性	非強制徴収公債権及び私債権に係る処分行為は、裁判所の法的措置が必要で、かなりの時間と労力を要するため、滞納者の納付状況や生活状況等を的確に見極めながら進行管理を行い、計画的に粘り強く債権整理を行う。			

	所見
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	福祉関連の債権回収だけでなく、他部署との連携を図りながら市全体の債権管理を行い、安定的な歳入確保に努めることが重要である。
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	福祉保健部 社会福祉課												
	作成責任者	大西 健二												
	事業名	総合福祉会館等施設管理事業												
	会計情報	款	民生費	項	社会福祉費	目	社会福祉総務費	会計	一般会計	事業コード	440204	決算付属資料	112	頁
	施策体系	施策コード	050201	施策名	共に支えあう地域福祉を推進する									
	開始年度	昭和51年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	-												
	根拠法令等	-												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	総合福祉会館等を活用し、市民の福祉・文化・健康の増進及び向上を図る。										
	対象者	全市民	対象者数	78,166	単位あたりコスト	0.1						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等	指定管理: 福知山市社会福祉協議会										
	事業概要	総合福祉会館の指定管理料及び総合福祉会館他所管する施設の維持管理経費。										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費		
		需用費	消耗品費(市旗・まな板)施設修繕料(北部保健福祉センター台所排水修繕他)							53		
役務費		所管施設建物総合損害共済基金分担金							66			
委託料		総合福祉会館指定管理料							18,178			
使用料及び賃借料		ふれあいの里土地賃借料							3			
関連事業												

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額				
	配当予算	①当初	5,244	5,427	18,891	18,784	17,608			
		②補正予算			0					
		③流充用額	△ 4,145	△ 3,573	△ 65					
		④繰越額計	0	0	0	0	0	0		
	前年度繰越									
		次年度繰越								
	財源内訳 (①④⑤内訳)	一般財源	374	1,854	16,802	16,782	17,608			
		国支出金	0	0	0	0				
		府支出金	0	0	0	0				
		地方債	0	0	0	0				
		その他特財	725	0	2,024	2,002				
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	施設等光熱水費	種類	雑入	実績金額	1,218	決算付属資料	40	頁
		特財名称	土地建物貸付収入	種類	貸付収入	実績金額	613	決算付属資料	30	頁
	人件費	0.14/0	0.43 / 0	0.28 / 0	0.28 / 0					
⑤概算人件費	1,120	3,440	2,240	2,240						
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	2,219	5,294	21,066	21,024						
⑦執行額	1,056	1,797	18,301							
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	96.1%	96.9%	97.2%	0.0%						

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		総合福祉会館の福祉利用率	%	61.5/80	62.4/80	62.01/80	/ 80	80
				/	/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		総合福祉会館利用者数	人	32191/35000	26444/35000	16850/35000	/ 35000	35000
		単位あたりコスト		0.0	0.7	1.1		
			/	/	/	/		
			単位あたりコスト					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	総合福祉会館が老朽化している、和室が多く利用しにくいなどの理由により、利用者が限られている状況にある。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	総合福祉会館は指定管理による管理を行っており、コスト削減が図られている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	民間のノウハウを有効活用することができるが、他にも類似施設があり利用者が限定されている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	総合福祉会館は指定管理制度を導入していることにより、利用者ニーズに対応した施設運営を円滑に行うとともに、市民サービスの向上を図ることができた。また、所管施設の適切な維持管理のための費用支出を行ったことで、各施設の円滑な運営を図ることができた。指定管理者（社会福祉協議会）において、広報誌・ホームページでの広報活動やマスメディアの活用、福祉会館を拠点とし事業・行事を企画開催するなど、福祉利用をはじめとした利用者増加に向けた取組を行っているが、平成30年度は耐震及び改修工事の影響があり、利用者は大幅な減員となった。	
	今後の課題及び方向性	平成31年度で総合福祉会館の現指定管理期間が終了することから、次期契約に向けて施設の積極的な活用や有効利用について関係課と協議検討していく必要がある。 平成30・31年度2カ年において耐震及び改修工事を行っているため、今後の修繕費等の支出については抑えることが出来るものと考えている。 夜久野ふれあいの里多目的広場や土地の将来的な方向性が明確には決定していないが、当面は普通財産の貸付により有効活用を図りながら検討する必要がある。 平成30年度から総合福祉会館等指定管理事業を統合した。		

		所見
庁内及び外部による評価（棚卸し評価）	二次評価（庁内評価） 【行革担当課記入】	
	三次評価（外部評価） 【行革担当課記入】	

		方針区分	内容
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	・指定管理委託料の見直しをする
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	福祉保健部 社会福祉課												
	作成責任者	大西 健二												
	事業名	福祉施設改修事業												
	会計情報	款	民生費	項	社会福祉費	目	社会福祉総務費	会計	一般会計	事業コード	440210	決算付属資料	112	頁
	施策体系	施策コード	050201	施策名	共に支えあう地域福祉を推進する									
	開始年度	昭和51年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	-												
	根拠法令等	-												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	市民の福祉・文化・健康の増進及び向上を図るため、総合福祉会館等の老朽した施設を改修・耐震化・解体することで、利用者の利便性・安全性を図り、有効な施設活用を推進する。										
	対象者	全市民	対象者数	78,166	単位あたりコスト	0.3						
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等	委託：公益社団法人京都公共嘱託登記士地家屋調査士協会、総合福祉会館耐震及び改修工事：前田・福多共同企業体、夜久野町ふれあいの里体育館解体工事：公正産業株式会社										
	事業概要	総合福祉会館耐震及び改修工事(2カ年継続)及び夜久野町ふれあいの里体育館解体工事の実施										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費		
		役員費	ふれあいの里体育館及び総合福祉会館備品処分料							65		
委託料		ふれあいの里福祉センター及びミニデイサービスセンター表題登記委託料							251			
工事請負費		総合福祉会館耐震及び改修工事、ふれあいの里体育館解体工事							127,273			
関連事業												

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額				
配当予算	①当初	648	29,186	320,800	176,200				
	②補正予算			△ 27,000					
	③流充用額	957	△ 10,060	66					
	④繰越額計	0	0	△ 165,800	165,800	0			
前年度繰越									
	0								
次年度繰越									
	△ 165,800								
一般財源	1,605	726	34,056	342,000	0				
国支出金	0	0	0	0					
府支出金	0	0	0	0					
地方債	0	17,900	89,700	-					
その他特財	0	500	4,310	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	福祉施設改修事業(緊急防災・減災)	種類	市債	実績金額	65,500	決算付属資料	46	頁
	特財名称	福祉施設改修事業(旧合併特例債)	種類	市債	実績金額	24,200	決算付属資料	46	頁
人件費	0.04/0	0.09 / 0	0.11 / 0	0.11 / 0					
⑤概算人件費	320	720	880	880					
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	1,925	19,846	128,946	342,880					
⑦執行額	1,605	18,082	127,589						
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	94.5%	99.6%						

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標		
		工事設計実施件数	件	-	2 / 2	-	/	0	0	
工事実施件数		/	/	2 / 2	/	1	0			
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標			
			改修対象施設数	施設	2 / 2	2 / 2	2 / 2	/	1	0
			単位あたりコスト		802.5	9041.0	63794.5			
			単位あたりコスト		/	/	/	/		

	項目	評価	評価に対する説明	
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	総合福祉会館が老朽化している、和室が多く利用しにくいなどの理由により、利用者が限られている状況にある。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	総合福祉会館は指定管理による管理を行っており、コスト削減が図られている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	民間のノウハウを有効活用することができるが、他にも類似施設があり利用者が限定されている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	総合福祉会館の老朽化や40年以上前の基準で建設されていることに鑑み、耐震補強を施すとともに、利用者の安全確保、利便性向上を図り有効な施設活用を推進するために改修工事を実施している。（平成30・31年度2カ年継続工事） また、公共施設マネジメント実施計画に基づき、旧耐震のふれあいの里体育館を解体し、普通財産の貸付を行うことにより跡地の有効活用を図る。		
今後の課題及び方向性	総合福祉会館については、平成30年度に引き続いて耐震工事を含めた施設改修を行い、施設の安全性の確保と利用者の利便性の向上を図る。 老朽化により委譲できず普通財産として残った夜久野ふれあいの里多目的広場については、当面は普通財産の貸付により有効活用を図りながら施設のあり方について検討していく。			

	所見
二次評価（庁内評価） 【行革担当課記入】	
三次評価（外部評価） 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	福知山市総合福祉会館の改修がR元年で完成した。
	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】